

三辰掛沓

くつかけ たつぞう

義勝尾北

きたお かつよし

二人展

令和3年

2/9_火 → 3/31_水

会場 朝倉文夫記念文化ホール

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)

観覧料 大人／400(320)円 小中高生／無料

※()内は20名以上の団体料金

・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は無料

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、内容が変更になる場合がございます。

主催 豊後大野市(朝倉文夫記念館)、大分合同新聞社

後援 大分県美術協会、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム

〈問合せ〉 朝倉文夫記念館 〒879-6224 豊後大野市朝地町池田1587-11 TEL.0974-72-1300 FAX.0974-72-1302

沓掛辰三・北尾勝義 二人展

沓掛 辰三 (くつかけ たつぞう)

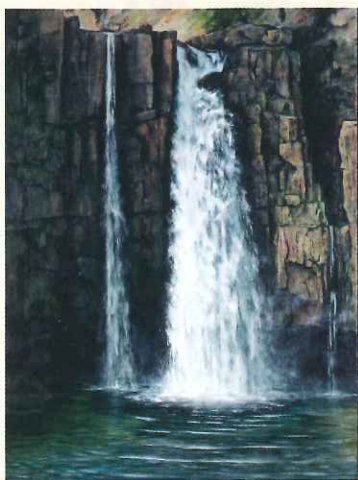
沓掛辰三は、1929(昭和4)年、千葉県生まれ。豊後大野市大野町在住。1961(同36)年頃、大野町の小学校の美術教諭として赴任してきた、中学の同窓村上義衛氏からスケッチに誘われたのがきっかけとなって、絵画を始め、村上氏を講師とした「大野町絵画クラブ」で画技を深めました。

また、1988(同63)年からは、地元開催の「あさじアマチュア美術展」に出品。また、大分県勤労者創作美術展、豊和銀行公募アマチュア絵画展、けんしん美術展等でも活躍した他、2011(平成23)年、2016(同28)年の大分県美展では美術協会賞を受賞しました。

大きな自然を精緻に描き込むその作風は、91歳となった今も健在です。



「早春の久住連山」



「滝」



「黒岳山麓」



「豊饒の大地」

北尾 勝義 (きたお かつよし)

北尾勝義は、1935(昭和10)年、豊後大野市朝地町生まれ。朝地町在住。朝地町職員として、朝倉文夫記念館の開館に携わり、地域の機運を高めようと、1989(平成元)年、自ら油彩画を始めると共に、朝地町美術協会の設立に尽力しました。

また、「大野町絵画クラブ」に在籍し、「あさじアマチュア美術展」には第1回展以来作品を出品。大分県美展では油彩画に加え、彫刻も発表し、2005(平成17)年には、彫刻部門で県教育長賞を受賞しました。その力感溢れる作風は85歳となった今も衰えることなく、人々にエネルギーを与えています。

2000(同12)年、朝地町美術協会会長。2019(同31)年からは、豊後大野市美術協会会長を務めています。大分県美術協会会員。



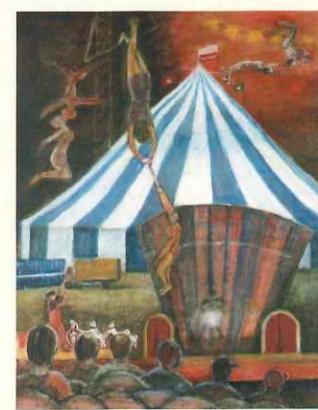
「記憶」



「不思議な佛」



「佛頭」



「サーカス」

アクセス

【大分市方面から】

大分自動車道「大分米良IC」～中九州横断道路「大野IC」～豊後大野市大野町養老信号右折約10分(大分市より約60分)

【熊本市方面から】

国道57号線～豊後大野市大野町養老信号左折約10分(熊本市より約120分)

JR豊肥本線「朝地駅」下車、タクシーで約10分

朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11

tel.0974-72-1300 fax.0974-72-1302

URL: <http://www.bungo-ohno.jp/>

(「施設情報」より「朝倉文夫記念館」をご覧ください)

